

全日本女子ソフトボール合宿 冷涼な気候の倶知安で熱い4日間

2004年アテネ五輪、2008年北京五輪前の強化合宿以来9年ぶりに全日本女子ソフトボールチームが、7月22日（土）に倶知安町を訪れ、23日（日）～26日（水）までの4日間、きたるくグラウンドにおいて国内強化合宿を行いました。

初日の23日（日）、練習に先立って行われた歓迎セレモニーには西江町長らが出席し、選手およびチームスタッフに対し「東京五輪でのメダル獲得を目指して頑張ってほしい」と述べ激励し、過去の強化合宿の際にも当町を訪れた経験のある山田恵里圭将は「ここでの合宿を、東京五輪につなげたい」と話していました。



合宿期間中の25日（火）の午前中には町民を対象としたソフトボールクリニックが行われ、小中学生ら約40名が参加し、小学校低学年のクラスでは鬼ごっこなどで楽しくウォーミングアップを行った後、年代やポジションごとに分かれ、代表選手から技術指導を受けました。クリニック

ク閉講式では指導に当たった選手を代表して佐藤みなみ選手が「今日の練習を忘れずに、さらにソフトボールを好きになってください。いつか一緒にプレーできる日を楽しみにしています」と参加した子どもたちに話しました。その後、代表選手によるサイン会が行われ、子どもたちは色紙などを手に行列をつくり、選手たちと笑顔で会話を交わしていました。



倶知安での合宿は26日（水）で終了し、チームは翌27日（木）に倶知安の宿舎を出発後石狩市に移動し、北海道での合宿を7月31日（月）まで行いました。

また、8月2日（水）～8日（火）には女子ソフトボール1部リーグで活躍する太陽誘電女子ソフトボールチームも倶知安で合宿を行いました。

まちなかに、にぎわいを 「あつまれ！まちなか広場プロジェクト」

現在、町内北1西2（駅前通り川端文化堂横空き地）で実施中の「あつまれ！まちなか広場プロジェクト」は、北海道新幹線倶知安駅開業や高規格道路開通を控え、まちなかににぎわいを作るための実証実験として行われるもので、同実行委員会（倶知安商工会議所）が主催しており、広場には、地元食材を使用したカレーとじゃがいもをテーマとした飲食ブースや子どもが遊べる広場、休憩スペースなどがあり、連日多くの人でにぎわっています。

7月29日（土）、11時から行われたオープニングイベントでは、M

Youtai Jr. JAZZ Schoolの演奏が行われ、じゃが太くんらが登場するなどして多くの人を楽しませました。イベントの中で倶知安商工会議所阿部和則会頭は、「子どもからお年寄りまで一人でも多くの方に来場いただき、楽しい時間を過ごしてもらいたい」と話していました。



▲オープニングイベントの様子(7月29日)

みんなが気軽に立ち寄り遊んだりできる空間

まちなか広場

あつまれ！

期間 実施中～9/24
時間 月～土 11時～19時※9/3まで
11時～18時※9/4から
日・祝 10時～18時

9/3(日)日進堂～まちの駅「ぷらっと」の間

歩行者天国 10時～18時

パンブトラック体験 ストライダー試乗

10時～15時 14時～16時

書道教室「雅」10時～
GOTUGOTU 10時～
フリーマーケット 10時～15時
3×3バスケットエキシビジョン 15時30分～17時30分
その他商店連合会共催イベントなど

9/24(日)のフィナーレは色々なイベントを企画中です！お楽しみに！

間まちなか広場プロジェクト実行委員会
(倶知安商工会議所) ☎ 22-1108

地域の伝統に触れ 町への愛着を育てる

7月17日は「北海道みんなの日（愛称…道みんの日）」です。この日を記念し、7月19日（水）に倶知安小学校で全学年を対象に特別授業が行われました。

この特別授業は、倶知安の無形民俗文化財である羊蹄太鼓、その創始者である高田緑郎氏（通称…太鼓のロクさん）の説話を聞き、実際に演奏を聴くことで地域の文化や伝統に触れ、町への愛着を育てることを目的として行われました。

授業では、羊蹄太鼓保存会の矢吹俊男氏が太鼓のロクさんと羊蹄太鼓、そしてそれらと共にある倶知安の風土について話しながら、故郷を大切に思うことや感謝の気持ちを忘れないことなどを子どもたちに伝えました。

講演の後に行われた太鼓の演奏では、鼓流ジュニアに所属する同校の生徒も参加し、迫力のある演奏に、聴いていた子どもたちは驚いていた様子でした。



酪農・畜産振興のため 家畜総合品評会

7月27日（木）、よつてい農業協同組合倶知安支所特設会場（字八幡）にて平成29年度倶知安町家畜総合品評会（同実行委員会主催）が開催されました。

この品評会は、町内において飼育されている家畜を集合させ、体型や発育の状態などを比較し順位をつけるもので、飼育管理の改善や資質の改良を図り、この町の酪農・畜産をさらに発展させる目的で実施されています。この日は、産まれて7カ月以上が経過した乳牛38頭が審査の対象となりました。

審査は、年齢ごと9つの区分に分けて行われました。審査にあたった(株)十勝家畜人工授精所松浦久美子氏は、上位の家畜に対し「体の長さが良く幅もある。後ろから見た姿も美しい」と講評をしていました。



約600台の自転車が夏のニセコを走り抜ける！ 「ニセコHANAZONOヒルクライム」が開催されました

8月6日（日）、町公民館を出発し、倶知安市街地を通って倶知安農業高校前から五色温泉付近までの約16km、高低差620mのコースで開催される自転車レース「ニセコHANAZONOヒルクライム」が行われました。

この大会は今年で8回目を迎え、当日は晴天の中、道内外から多くのサイクリストが参加し、年齢や性別などで分かれた12部門、600名以上が「くっちゃんじゃが祭り」が行われている駅前通りをパレード走行でさっそうと走り抜け、沿道に集まった人たちは熱い声援を送りました。

また、表彰式はじゃが祭りのステージ上で行われ、会場ではサイクルジャージに身を包み、倶知安の夏の一大イベントを楽しむサイクリストの姿が多くみられました。



富士見橋修繕工事が行われます 富士見橋の片側交互通行規制

町道西6号富士見線に架かる富士見橋の修繕工事のため、工事期間中は、24時間片側交互通行となります。ご理解とご協力をお願いいたします。

- ◆工事名 富士見橋橋梁修繕工事
- ◆工事区間 富士見橋橋梁区間
- ◆交通規制 工事区間 車両片側交互通行
- ◆規制時期 9月下旬頃～12月下旬頃 24時間
※時期・時間は変更することがあります
- ◆施工業者 白木・鈴木・加藤経常建設共同企業体
- 間町建設課 ☎ 56－8011



思い思いの色やかたちで 公民館文化講座 陶芸教室

町教育委員会では、毎年、町民を対象に公民館文化講座を開催しており、着付け、茶道といった日本文化に触れるものや麻雀やパッチワーク、ヨガなどの自身の趣味を広げるものについて、講師が楽しく教えてくれるもので、本号では夜の講座として全10回開催される「はじめての陶芸」を取材してきました。

7月26日（水）この日は、会場の俱知安町生がいセンターに、約40名の受講者が集まり講師から指導を受けながら、素焼きを終えた陶器に釉薬を付けることで装飾とともに硬度の保護も兼ねる釉づけの作業を行っていました。この工程では実際につける釉薬の色は、焼き上がりとその色に違いが出るため、受講者は何度も講師に確認をしながら作業を行っていました。



今年初めて参加したという受講者は「誘われて参加しましたが、趣味や友人の輪も広がり楽しいです」と話していました。

8月9日（水）には本焼きの作業

が行われ完成した作品が受講者に配られました。受講者に感想を聞くと「6月から始まりこの日まで、自分の手で作ってきた作品なので非常に愛着があります」と話しており、完成した作品は家庭で使うという声が多く、中には友人に贈るという受講者もいました。全10回の講座を終えた受講者に対し講師は「初めての方もあり、難しい工程もあったかと思いますが、経験を重ねればどんどん上手くなります。ぜひ来年も参加してみてください」と話していました。



35名の小中高生が英語に触れる二日間 イングリッシュサマーキャンプ

俱知安町のA・L・T（外国語指導助手）として平成27年7月から、町内の小中学校での授業の他、イングリッシュデイキャンプの運営などに携わってきたダニエル・ラッシュ先生が2年間の任期を終え、7月26日（水）には新たにこの日から2年間俱知安町のA・L・Tを務めるアンドリュー・プロブスデル先生が教育長室で辞令を受け取りました。

アンドリュー先生 よこそ俱知安へ！

はじめまして！私はアンドリュー・プロブスデルと申します。俱知安町の新しい外国語指導助手です。アンドリューと呼んでください。出身地は米国のコロラド州にあるライフルという町です。俱知安町と同じように、山と畑が多く、冬は雪がたくさん降る所です。ここに住めてとても嬉しくて、皆さんに会うことも英語を教えることも楽しみにしております。よろしくお願いいたします！



小中高英語連携事業として町が行うイングリッシュデイキャンプが今年も実施されています。

8月7日（月）～8日（火）に行われたイングリッシュサマーキャンプは、北陽小学校に宿泊する二日間の日程で、ラフティングやゲームなどを通じて英語に触れる活動を行い、新たにA・L・Tとなったアンドリュー先生も参加しました。

一日目のラフティングで子どもたちは、外国人のガイドの方と積極的に英語でコミュニケーションを取りながら楽しみました。また、二日目の英語活動では、グループごとに誰もが知っている童話などを英語で演じるスキット発表を行いました。

学校や学年の違う仲間と寝食を共にし、英語でのコミュニケーションを学んだ今回のキャンプは、参加した子どもたちにとって忘れられない二日間になったのではないのでしょうか。



▲英語によるスキット「おおきなかぶ」を演じる子どもたち

第55回 くっちゃんじゃが祭り

8月5日（土）・6日（日）の二日間、くっちゃんじゃが祭りが開催され、一日目の最高気温が27.0℃、二日目は28.4℃という夏らしい好天の中、町内外や道外から延べ約5万1千人が来場しました。

昭和38年に開催された産業観光まつりから数えて55回目となった今年のじゃが祭りは、毎年おなじみとなっている「じゃがねぶた」や「俱知安町無形民俗文化財 赤坂奴」などに加え、55イベントシリーズとして新たなイベントが追加され、来場者を大いに楽しませました。



- 55 回記念太鼓
- 音楽祭 & 小学生よさこい
- 木こセコロデオ体験
- ストライダー体験試乗会
- 開祭式
- 大道芸（アッキー）
- 子どもコーラ早飲み
- KIDS ダンス
- じゃがいもジャンジャン取り
- 阿波踊り
- 雪のすべり台
- ほくほくじゃが無料配布
- 牛乳の無料試飲コーナー
- じゃがPK大会
- Mt. Youtei Jr. JAZZ School 演奏
- じゃが千人踊り
- Seventh Heaven 55 ダーツチャレンジ
- Nice&Co ステンシル体験 55
- 55 フーパーズカップ 3×3
- 55 フリーマーケット
- マーキーカー 55 激辛カーバトル
- 55 じゃがライブ輪笑良い（わっしょい）

